

対象校No. 290
注4

学校コード F101310100365
注3

設置年度 令和 8年度

計画の区分： 学部設置
注1

届出

注2

日本医療大学 ヒューマンデザイン学部 共生社会デザイン学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人日本医療大学
令和8年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画法務グループ

職名・氏名

電話番号 011-351-6100

(夜間)

e-mail houjin-g@jhu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(令和◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・「〇〇短期大学 △△学科」
・「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)」
・「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和8年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

ヒューマンデザイン学部

＜共生社会デザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教育研究実施組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人日本医療大学

(2) 大学名

日本医療大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒062-0053

北海道札幌市豊平区月寒東三条11-1-50

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツシマ ノリアキ) 対馬 徳昭 (平成5年4月)		
学長	(オオタ マコト) 太田 誠 (令和2年4月)	(ミヤモト アツシ) 宮本 篤 (令和8年4月)	任期满了に伴い、学長の変更(8)
学部長	(ウエスギ マサヒト) 上杉 正人 (令和8年4月)		
学科長等	(タナカ ヒデキ) 田中 英樹 (令和8年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和7年度に報告する内容 → (7)

令和8年度に報告する内容 → (8)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。

・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和8年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「(出入国管理及び難民認定法)別表第一に定められる『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
ヒューマンデザイン学部 共生社会デザイン学科 学士(社会福祉学)	社会学・社会福祉学関係	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人	-	

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80	-	-	0.23倍	-倍	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	49	(-)				
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	48	(-)				
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	46	(-)				
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	19	(-)				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.23	-				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和9年度開設用) IV.33 収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	
	[- -]	[- -]	[- -]	[- -]	[- -]	[- -]	[- -]	[- -]	[- -]	[- -]	[- -]	[- -]	
	(- -)	(- -)	(- -)	(- -)	(- -)	(- -)	(- -)	(- -)	(- -)	(- -)	(- -)	(- -)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
令和8年度	19 人	0 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
令和8年度	0 人	0 人				
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和8年度】

$$\frac{\text{令和8年度の退学者数(a)}}{\text{令和8年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<ヒューマンデザイン学部 共生社会デザイン学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く(助手外)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目 (人間と文化)	人間の尊厳と自立	2前		2								1
	倫理学	1前		2								1
	文化人類学	2後		2		1						
	教育学	2前		2								1
	文学	2後		1								1
	北海道史	1後		1		1						
	心理学と心理的支援	1前	○	2		1						
	発達心理学	1後		2		1						
	ボランティア活動	1後		1			1					
	健康・医療心理学	4後			2					1		
	福祉心理学	4前			2		1					
教育・学校心理学	4前			2					1			
小計(12科目)	—	—	—	6	15	0	3	1	0	1	0	3
基礎教育科目 (人間と社会)	法学入門	1後		2								1
	政治学入門	2前		1								1
	経済学入門	1後		1								1
	経営学入門	1前		1								1
	行政法	2前		2								1
	マーケティング入門	1後		2								1
	統計学	1前		2								1
	会計学入門	1前		2								1
	簿記入門	1後		2								1
	社会学と社会システム	2前	○	2		1						
	家族社会学	3前			2							1
小計(11科目)	—	—	—	4	15	0	1	0	0	0	0	7
基礎教育科目 (健康科学)	生活科学	1後		1								1
	健康とスポーツ I	1前		1								1
	健康とスポーツ II	2前		1								1
	小計(3科目)	—	—	—	1	2	0	0	0	0	0	2
基礎教育科目 (語学)	日本語表現	1前		2								1
	英語 I (基礎)	1後		2								1
	英語 II (実践基礎)	2前			2							1
	英語 III (実践応用)	2後			2							1
	中国語	2前			2							1
	韓国語	1後			2							1
	小計(6科目)	—	—	—	4	8	0	0	0	0	0	4

【令和8年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く(助手外)	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目 (人間と文化)	人間の尊厳と自立	2前		2								1	
	倫理学	1前		2								1	
	文化人類学	2後		2		1							
	教育学	2前		2								1	
	文学	2後		1								1	
	北海道史	1後		1		1							
	心理学と心理的支援(心理学実務)	1前	○	2		1							
	発達心理学	1後		2		1							
	ボランティア活動	1後		1			1						
	健康・医療心理学	4後			2					1			
	福祉心理学	4前			2		1						
教育・学校心理学	4前			2					1				
小計(12科目)	—	—	—	6	15	0	4	0	0	0	1	0	3
基礎教育科目 (人間と社会)	法学入門	1後		2								1	
	政治学入門	2前		1								1	
	経済学入門	1後		1								1	
	経営学入門	1前		1								1	
	行政法	2前		2								1	
	マーケティング入門	1後		1								1	
	統計学	1前		2								1	
	会計学入門	1前		2								1	
	簿記入門	1後		2								1	
	社会学と社会システム	2前	○	2		1							
	家族社会学	3前			2							1	
小計(11科目)	—	—	—	4	14	0	1	0	0	0	0	7	
基礎教育科目 (健康科学)	生活科学	1後		1								1	
	健康とスポーツ I	1前		1								1	
	健康とスポーツ II	2前		1								1	
	小計(3科目)	—	—	—	1	2	0	0	0	0	0	2	
基礎教育科目 (語学)	日本語表現	1前		2								1	
	英語 I (基礎)	1後		2								1	
	英語 II (実践基礎)	2前			2							1	
	英語 III (実践応用)	2後			2							1	
	中国語	2前			2							1	
	韓国語	1後			2							1	
	小計(6科目)	—	—	—	4	8	0	0	0	0	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く(助手)	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎教育科目(社会福祉の基礎)	ヒューマンデザイン論	1前	○	2				2					2
	共生社会デザイン論	1後	○	2				1	2				
	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1前	○	2				1					
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1後	○	2				1					
	ソーシャルワークの原理	1後	○	2				1	1		1		
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2前	○	2									1
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2後	○	2									1
	社会保障Ⅰ	2前	○	2				1					
	社会保障Ⅱ	2後	○	2				1					
	貧困に対する支援	3前	○	2									1
	高齢者福祉	1後	○	2					1				
	障害者福祉	1前	○	2					1				
	児童・家庭福祉	2後	○	2					1				
	権利擁護を支える法制度	3前	○	2									1
	刑事司法と福祉	4前	○	2									1
	保健医療と福祉	2後	○	2				1					
	医学概論	1後	○	2									1
	人体の構造と機能及び疾病	2前	○	2	2								1
	ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅰ	1前	○	2							1		
	社会福祉調査の基礎	2前	○	2	2								1
	国際医療福祉論	3後		2	2								1
	公衆衛生学	2後		2	2								1
	公認心理師の職責	2前		2	2			1					
	臨床心理学概論	2後		2	2			1					
	心理学研究法	3前		2	2			1					
	心理学統計法	3後		2	2						1		
	心理学実験	3前		2	2						1		
	心理的アセスメント	4前		2	2	2					1		
	心理学的支援法	3後		2	2	1							
	カウンセリング	2後		2	2	1							
	医療ソーシャルワーク論	3前		2	2	1							
	ケアマネジメント論	3後		2	2								1
	リーダー論	4前		2	2			1					
	リハビリテーション論	2前		2	2								3
	ICFの理解	2前		1	1								1
	福祉用具と福祉機器	4前		1	1								1
小計(36科目)	—	—	—	29	41	0	3	4	0	2	0	15	
専門基礎教育科目(医療福祉の基礎)	医療情報概論	1前			2							1	
	医療情報システム論	1後			2							1	
	情報リテラシー	1前			2							1	
	地域医療連携とチーム医療	3前			2							1	
	地域活性化と地域医療	3前			2							1	
	福祉サービスの組織と経営	3後	○	2								1	
	介護施設経営	4前			2							1	
小計(7科目)	—	—	—	6	8	0	0	0	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く(助手)	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎教育科目(社会福祉の基礎)	ヒューマンデザイン論	1前	○	2					2				2
	共生社会デザイン論	1後	○	2					1	2			
	社会福祉の原理と政策Ⅰ	1前	○	2						1			
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	1後	○	2						1			
	ソーシャルワークの原理	1後	○	2					1	2			
	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2前	○	2									1
	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2後	○	2									1
	社会保障Ⅰ	2前	○	2					1				
	社会保障Ⅱ	2後	○	2					1				
	貧困に対する支援	3前	○	2						2			1
	高齢者福祉	1後	○	2						2	1		
	障害者福祉	1前	○	2						2	1		
	児童・家庭福祉	2後	○	2						2	1		
	権利擁護を支える法制度	3前	○	2						2			1
	刑事司法と福祉	4前	○	2						2			1
	保健医療と福祉	2後	○	2					1				
	医学概論	1後	○	2						2			1
	人体の構造と機能及び疾病	2前	○	2	2								1
	ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅰ	1前	○	2							1		
	社会福祉調査の基礎	2前	○	2	2								1
	国際医療福祉論	3後		2	2								1
	公衆衛生学	2後		2	2								1
	公認心理師の職責	2前		2	2				1				
	臨床心理学概論	2後		2	2				1				
	心理学研究法	3前		2	2				1				
	心理学統計法	3後		2	2							1	
	心理学実験	3前		2	2							1	
	心理的アセスメント	4前		2	2	2					1		
	心理学的支援法	3後		2	2	1							
	カウンセリング	2後		2	2	1							
	医療ソーシャルワーク論	3前		2	2	1							
	ケアマネジメント論	3後		2	2								1
	リーダー論	4前		2	2						1		
	リハビリテーション論	2前		2	2								3
	ICFの理解	2前		1	1								1
	福祉用具と福祉機器	4前		1	1								1
小計(36科目)	—	—	—	29	41	0	5	3	1	1	0	15	
専門基礎教育科目(医療福祉の基礎)	医療情報概論	1後			2							1	
	医療情報システム論	2前			2							1	
	情報リテラシー	1前			2							1	
	地域医療連携とチーム医療	3前			2							1	
	地域活性化と地域医療	3前			2							1	
	福祉サービスの組織と経営	3後	○	2								1	
	介護施設経営	4前			2							1	
小計(7科目)	—	—	—	6	8	0	0	0	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く(助手)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目(ソーシャルワーク実習)	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2後	○		1		1	1		1		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3通	○		2		2	1		1		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(精神)	3後	○		1			2		1		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ(精神)	4通	○		2			2		1		
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	3通	○		6		2	1		1		
	ソーシャルワーク実習Ⅱ(精神)	4通	○		5			2		1		
	スクールソーシャルワーク実習指導	4前	○		1		1					
	スクールソーシャルワーク実習	4後	○		3		1					
	心理実習	4後			2			1		1		
	小計(9科目)				0	23	0	2	4	0	3	0
専門教育科目(総合科目)	基礎演習	1通	○	2			4	4		3		
	専門演習Ⅰ	3通	○	2			4	4				
	専門演習Ⅱ	4通	○	2			4	4				
	卒業研究	4通	○		4		4	4				
小計(4科目)				6	4	0	4	4	0	3	0	0
合計(135科目)				61	194	0	3	5	0	3	0	39
卒業要件及び履修方法												
必修科目61単位、基礎教育科目の選択科目から12単位以上、専門基礎教育科目の選択科目から21単位以上、専門教育科目の選択科目から30単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限45単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く(助手)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目(ソーシャルワーク実習)	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2後	○		1		2	1				
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3通	○		2		3	1				
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(精神)	3後	○		1		1	1		1		
	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ(精神)	4通	○		2		1	1		1		
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	3通	○		6		3	1				
	ソーシャルワーク実習Ⅱ(精神)	4通	○		5		1	1		1		
	スクールソーシャルワーク実習指導	4前	○		1		1					
	スクールソーシャルワーク実習	4後	○		3		1					
	心理実習	4後			2			1		1		
	小計(9科目)				0	23	0	4	3	1	1	0
専門教育科目(総合科目)	基礎演習	1通	○	2			6	3	1	1		
	専門演習Ⅰ	3通	○	2			6	3	1			
	専門演習Ⅱ	4通	○	2			6	3	1			
	卒業研究	4通	○		4		6	3	1			
小計(4科目)				6	4	0	6	3	1	1	0	0
合計(135科目)				61	193	0	6	3	1	1	0	39
卒業要件及び履修方法												
必修科目61単位、基礎教育科目の選択科目から12単位以上、専門基礎教育科目の選択科目から21単位以上、専門教育科目の選択科目から30単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限45単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和8年度(新)】→【令和7年度(新)】→【令和6年度】→【令和5年度】→【令和8年度(旧)】→【令和7年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和8年度】

- ・科目「心理学と心理的支援(心理学概論)」は、公認心理師の開講科目にするため(科目名)を追加。
- ・誤記載のため、科目「マーケティング入門」の単位数「2単位」から「1単位」に変更。
- ・誤記載のため、科目「医療情報概論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・後記載のため、科目「医療情報システム論」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・科目「精神医学と精神医療Ⅰ(精神疾患とその治療)」は、公認心理師の開講科目にするため(科目名)を追加。
- ・科目「障害者(児)心理学(障害者・障害児心理学)」は、公認心理師の開講科目にするため(科目名)を追加。
- ・科目「関係行政論(心理)」は、公認心理師の開講科目にするため(科目名)を追加。
- ・内部昇格人事により、「ボランティア活動」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワークの原理」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ・准教授Ⅱ」から「教授Ⅰ・准教授Ⅱ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「高齢者福祉」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「障害者福祉」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「児童・家庭福祉」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教Ⅰ」から「准教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「リーダー論」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
- ・科目担当者変更により、「ICFの理解」を「その他Ⅰ」から「講師Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教Ⅰ」から「准教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ」の専任教員等の配置を「助教Ⅰ」から「准教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ」の専任教員等の配置を「助教Ⅰ」から「准教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅴ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅵ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「精神保健福祉の原理Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教Ⅰ」から「講師Ⅰ」に変更。
- ・科目担当者変更により、「総末期ケアとソーシャルワーク」を「その他Ⅰ」から「教授Ⅱ・助教Ⅰ・その他Ⅰ」のオムニバスに変更。
- ・科目担当者変更により、「認知症ケア論」を「その他Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク演習Ⅱ」「ソーシャルワーク演習Ⅲ」「ソーシャルワーク演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授Ⅱ」「准教授Ⅰ」「助教Ⅰ」から「教授Ⅲ」「准教授Ⅱ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワーク演習Ⅴ」「ソーシャルワーク演習Ⅵ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅱ」「助教Ⅰ」から「教授Ⅰ」「准教授Ⅰ」「講師Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」「准教授Ⅰ」「助教Ⅰ」から「教授Ⅱ」「准教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」「ソーシャルワーク実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授Ⅱ」「准教授Ⅰ」「助教Ⅰ」から「教授Ⅲ」「准教授Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「ソーシャルワーク実習指導Ⅲ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅳ」「ソーシャルワーク実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅱ」「助教Ⅰ」から「教授Ⅰ」「准教授Ⅰ」「講師Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事により、「基礎演習」の専任教員等の配置を「教授Ⅳ」「准教授Ⅳ」「助教Ⅲ」から「教授Ⅵ」「准教授Ⅲ」「講師Ⅰ」「助教Ⅰ」に変更。
- ・内部昇格人事及び担当追加により、「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授Ⅳ」「准教授Ⅳ」から「教授Ⅵ」「准教授Ⅲ」「講師Ⅰ」に変更。

(注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、

主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。

変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授Ⅰ」から「基幹教員 教授Ⅰ」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員Ⅰ」から「基幹教員以外の教員Ⅰ」に変更)については、記入しないでください。
- ・ 不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
32 科目	103 科目	0 科目	135 科目	32 科目 [0]	103 科目 [0]	0 科目 [0]	135 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{135} = \boxed{0}\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	75,039.36 m ²	0 m ²	0 m ²	75,039.36 m ²			
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	75,039.36 m ²			
	合 計	75,039.36 m ²	0 m ²	0 m ²	75,039.36 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	40,053.54 m ² (45,053.54m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	40,053.54 m ² (40,053.54 m ²)				
(3)教室・教員研究室		教 室	147室	教員研究室	126室			
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標本	
		〔うち外国書〕冊	電子図書〔うち外国書〕	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕			点
	ヒューマンデザイン学部	1,075 [0] (1,075 [0])	168 [0] (168 [0])	13 [0] (13 [0])	— [—] (— [—])	— (—)	— (—)	
	計	1,075 [0] (1,075 [0])	168 [0] (168 [0])	13 [0] (13 [0])	— [—] (— [—])	— (—)	— (—)	
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂	厚生補導施設				
	930.0 m ²		0 m ²	1,221.61 m ²				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	5,027千円	0千円	0千円
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	23,577千円	16,962千円	0千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,600千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		寄附金、私立大学等経常費補助金 等						

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(8)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本医療大学					収容定員充足率0.7倍以下の学科数	4	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0		
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
保健医療学部	4	510	0	2040	-	0.83	-	-	平成26	札幌市豊平区 月寒東3-11-1-50	
看護学科	4	150	0	600	学士 (看護学)	0.96	-	-	平成26	同上	
リハビリテーション学科	4	140	0	560	-	0.73	-	令和5	平成27	同上	
理学療法学専攻	4	100	0	400	学士 (理学療法学)	0.80	-	令和5	平成27	同上	
作業療法学専攻	4	40	0	160	学士 (作業療法学)	0.55	-	令和5	平成27	同上	
診療放射線学科	4	100	0	400	学士 (診療放射線学)	0.95	-	-	平成28	同上	
臨床検査学科	4	60	0	240	学士 (臨床検査学)	0.96	-	-	令和3	同上	令和9年度から入学定員変更(60→80)
臨床工学科	4	60	0	240	学士 (臨床工学)	0.37	-	-	令和4	同上	令和9年度から入学定員変更(60→20)
総合福祉学部	4	100	3年次 100	600	-	0.63	-	-	令和4	同上	
介護福祉マネジメント学科	4	-	-	-	学士 (福祉経営学)	-	-	-	令和4	同上	令和8年度入学生より学生募集停止
ソーシャルワーク学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	令和4	同上	令和8年度入学生より学生募集停止
通信教育部ソーシャルワーク学科	4	100	3年次 100	600	学士 (社会福祉学)	0.63	-	-	令和5	同上	
ヒューマンデザイン学部	4	120	0	120	-	0.23	-	-	令和8	同上	
医療DXマネジメント学科	4	40	0	40	学士 (福祉経営学)	0.22	-	-	令和8	同上	
共生社会デザイン学科	4	80	0	80	学士 (社会福祉学)	0.23	-	-	令和8	同上	
大学全体	4	730	3年次 100	2760	-	0.76	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- 記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- 学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- 本年度A.Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- 「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和9年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- 「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<ヒューマンデザイン学部 共生社会デザイン学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和8年度】

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名
基(主専)	教授	林 美枝子 (69) <令和8年4月> 博士(医学)	林 美枝子 (69) <令和8年4月> 博士(医学)
		文化人類学 北海道史 社会学と社会システム 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	文化人類学 北海道史 社会学と社会システム 家族社会学 終末期ケアとソーシャルワーク ※ 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究
基(主専)	教授	糸田 尚史 (67) <令和8年4月> 修士(社会福祉学)	糸田 尚史 (67) <令和8年4月> 修士(社会福祉学)
		心理学と心理的支援 発達心理学 心理的アセスメント※ カウンセリング 知覚・認知心理学 社会・集団・家族心理学 関係行政論(心理) 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	心理学と心理的支援 発達心理学 心理的アセスメント※ カウンセリング 知覚・認知心理学 社会・集団・家族心理学 関係行政論(心理) 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究
基(主専)	教授	下垣 光 (63) <令和8年4月> 文学修士	下垣 光 (63) <令和8年4月> 文学修士
		福祉心理学 臨床心理学概論 心理的アセスメント※ 心理的支援 感情・人格心理学 障害者(児)心理学 司法・犯罪心理学 ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅰ 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	福祉心理学 臨床心理学概論 心理的アセスメント※ 心理的支援法 感情・人格心理学 障害者(児)心理学 司法・犯罪心理学 認知ケア論 ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅰ 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究
基(主専)	教授	丸山 正三 (54) <令和8年4月> 修士(社会福祉学) 修士(公共政策学)	丸山 正三 (54) <令和8年4月> 修士(社会福祉学) 修士(公共政策学)
		共生社会デザイン論※ ソーシャルワークの原理※ 社会保険論Ⅰ 社会保険論Ⅱ 保健医療と福祉 医療ソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク論 ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ スクールソーシャルワーク論理 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅰ スクールソーシャルワーク実習指導 スクールソーシャルワーク実習 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	共生社会デザイン論※ ソーシャルワークの原理※ 社会保険論Ⅰ 社会保険論Ⅱ 保健医療と福祉 医療ソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク論 スクールソーシャルワーク論 ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ スクールソーシャルワーク演習 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅰ スクールソーシャルワーク実習指導 スクールソーシャルワーク実習 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究
基(主専)	准教授	金 文美 (59) <令和8年4月> 修士(社会福祉学)	金 文美 (59) <令和8年4月> 修士(社会福祉学)
		ヒューマンデザイン論※ 共生社会デザイン論※ 社会福祉の原理と政策Ⅰ 社会福祉の原理と政策Ⅱ ソーシャルワークの原理※ 現代の精神保健の課題と支援Ⅰ 現代の精神保健の課題と支援Ⅱ 精神保健福祉の原理Ⅰ 精神保健福祉制度論 精神障害リハビリテーション論 ソーシャルワーク演習Ⅴ(精神) ソーシャルワーク演習Ⅵ(精神) ソーシャルワーク演習Ⅶ(精神) ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(精神) 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	ヒューマンデザイン論※ 共生社会デザイン論※ 社会福祉の原理と政策Ⅰ 社会福祉の原理と政策Ⅱ ソーシャルワークの原理※ 現代の精神保健の課題と支援Ⅰ 現代の精神保健の課題と支援Ⅱ 精神保健福祉の原理Ⅰ 精神保健福祉制度論 精神障害リハビリテーション論 ソーシャルワーク演習Ⅴ(精神) ソーシャルワーク演習Ⅵ(精神) ソーシャルワーク演習Ⅶ(精神) ソーシャルワーク実習指導Ⅲ(精神) ソーシャルワーク実習指導Ⅳ(精神) 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名
基(主専)	准教授	平野 啓介 (51) <令和8年4月> 修士(臨床福祉学)	平野 啓介 (51) <令和8年4月> 修士(臨床福祉学)
		ボランティア活動 高松者福祉 障害者福祉 障害者福祉 リーダー論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅲ 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	ボランティア活動 高松者福祉 障害者福祉 障害者福祉 リーダー論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅲ 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究
基(主専)	准教授	辻 由依 (44) <令和8年4月> 博士(臨床心理学)	辻 由依 (44) <令和8年4月> 博士(臨床心理学)
		ヒューマンデザイン論※ 共生社会デザイン論※ 公認心理師の職責 心理学研究法 学習・言語心理学 心理演習 心理実習 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	ヒューマンデザイン論※ 共生社会デザイン論※ 公認心理師の職責 心理学研究法 学習・言語心理学 心理演習 心理実習 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究
基(主専)	准教授	今西 良輔 (43) <令和8年4月> 修士(臨床福祉学) 修士(教育学)	今西 良輔 (43) <令和8年4月> 修士(臨床福祉学) 修士(教育学)
		児童・家庭福祉 ソーシャルワークの理論と方法Ⅴ ソーシャルワークの理論と方法Ⅵ ソーシャルワーク演習Ⅴ(精神) ソーシャルワーク演習Ⅵ(精神) ソーシャルワーク実習Ⅴ(精神) ソーシャルワーク実習Ⅵ(精神) 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	児童・家庭福祉 ソーシャルワークの理論と方法Ⅴ ソーシャルワークの理論と方法Ⅵ ソーシャルワーク演習Ⅴ(精神) ソーシャルワーク演習Ⅵ(精神) ソーシャルワーク実習Ⅴ(精神) ソーシャルワーク実習Ⅵ(精神) 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究
基(主専)	助教	山下 浩紀 (62) <令和8年4月> 修士(ソーシャルワーク学)	山下 浩紀 (62) <令和8年4月> 修士(ソーシャルワーク学)
		ソーシャルワークの原理※ ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅰ ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅱ ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅲ 基礎演習	ソーシャルワークの原理※ ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅰ ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅱ ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅲ 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究
基(主専)	助教	橋本 達志 (58) <令和8年4月> 修士(社会福祉学)	橋本 達志 (58) <令和8年4月> 修士(社会福祉学)
		精神保健福祉の原理Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅴ(精神) ソーシャルワーク演習Ⅵ(精神) ソーシャルワーク演習Ⅶ(精神) ソーシャルワーク実習Ⅴ(精神) ソーシャルワーク実習Ⅵ(精神) 基礎演習	IGFの展開 精神保健福祉の原理Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅴ(精神) ソーシャルワーク演習Ⅵ(精神) ソーシャルワーク演習Ⅶ(精神) ソーシャルワーク実習Ⅴ(精神) ソーシャルワーク実習Ⅵ(精神) 基礎演習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究
基(主専)	助教	大倉 雄一 (40) <令和8年4月> 修士(臨床心理学)	大倉 雄一 (40) <令和8年4月> 修士(臨床心理学)
		健康・医療心理学 教育・学校心理学 心理学統計法 心理学実験 心理的アセスメント※ 産業・組織心理学 心理演習 心理実習 基礎演習	健康・医療心理学 教育・学校心理学 心理学統計法 心理学実験 心理的アセスメント※ 産業・組織心理学 心理演習 心理実習 基礎演習
その他	教授	石黒 匡人 (68) <令和8年4月> 博士(法学)	石黒 匡人 (68) <令和8年4月> 博士(法学)
		法学入門 行政法 権利論を支える法制度	法学入門 行政法 権利論を支える法制度
その他	教授	上杉 正人 (68) <令和8年4月> 博士(社会医学)	上杉 正人 (68) <令和8年4月> 博士(社会医学)
		医療情報システム論	医療情報システム論

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	教授	伊藤 一 (66) <令和8年4月> 博士(経営管理学)	その他	伊藤 一 (66) <令和8年4月> 博士(経営管理学)
		経営学入門 マーケティング入門 地域活性化と地域医療 持続可能社会と地域医療福祉経営※ 地域連携実践		経営学入門 マーケティング入門 地域活性化と地域医療 持続可能社会と地域医療福祉経営※ 地域連携実践 経済学入門
その他	教授	赤津 裕子 (58) <令和8年4月> 博士(工学)	その他	赤津 裕子 (58) <令和8年4月> 博士(工学)
		ヒューマンデザイン論※		ヒューマンデザイン論※ 統計学
その他	教授	照井 レナ (56) <令和8年4月> 修士(看護学)	その他	照井 レナ (56) <令和8年4月> 修士(看護学)
		ヒューマンデザイン論※ 地域医療連携とチーム医療 認知症ケア論		ヒューマンデザイン論※ 終末期ケアとソーシャルワーク ※ 地域医療連携とチーム医療 ソーシャルビジネス
その他	准教授	小野寺 美希子 (57) <令和8年4月> 博士(経営学)	その他	小野寺 美希子 (57) <令和8年4月> 博士(経営学)
		人的資源管理論 医療管理総論 医療安全・臨床倫理		人的資源管理論 医療管理総論 医療安全・臨床倫理
その他	准教授	塚辺 博崇 (48) <令和8年4月> 修士(会計学)	その他	塚辺 博崇 (48) <令和8年4月> 修士(会計学)
		会計学入門 簿記入門		会計学入門 簿記入門
その他	講師	笹森 大輔 (49) <令和8年4月> 修士(医療ビジネス経営学)	その他	笹森 大輔 (49) <令和8年4月> 修士(医療ビジネス経営学)
		医療DXワークショップA 医療DXワークショップB 医療DXワークショップC		医療DXワークショップA 医療DXワークショップB 医療DXワークショップC
その他	助教	小林 士己宏 (56) <令和8年4月> 修士(医療ビジネス経営学)	その他	小林 士己宏 (56) <令和8年4月> 修士(医療ビジネス経営学)
		医療情報概論 情報リテラシー		医療情報概論 情報リテラシー
その他	講師	越石 全 (64) <令和10年4月> 修士(社会福祉学)	その他	越石 全 (64) <令和10年4月> 修士(社会福祉学)
		ケアマネジメント論		ケアマネジメント論
その他	准教授	忍 正人 (64) <令和9年4月> 修士(社会福祉学)	その他	野口 定久 (74) <令和9年4月> 博士(社会福祉学)
		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 福祉サービスの組織と経営 介護施設経営		地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 福祉サービスの組織と経営 介護施設経営
その他	教授	加藤 敬文 (77) <令和9年4月> 修士(経営学)	その他	高岡 頼司 (38) <令和8年4月> 修士(社会福祉学)
		持続可能社会と地域医療福祉経営※ 地域連携実践		持続可能社会と地域医療福祉 経営※ 地域連携実践
その他	教授	志渡 晃一 (71) <令和8年4月> 博士(医学)	その他	久保 典由記 (53) <令和9年4月> 修士(社会福祉学)
		統計学 社会福祉調査の基礎 公衆衛生学		社会福祉調査の基礎
その他	講師	銭本 隆行 (59) <令和10年4月> 修士(臨床福祉学)	その他	佐藤 浩樹 (80) <令和8年4月> 博士(医学)
		国際医療福祉論		公衆衛生学
その他	講師	銭本 隆行 (59) <令和10年4月> 修士(臨床福祉学)	その他	銭本 隆行 (59) <令和10年4月> 修士(臨床福祉学)
		国際医療福祉論		国際医療福祉論

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	教授	原 俊彦 (75) <令和10年4月> 社会学博士		
		家族社会学		
その他	教授	島本 和明 (79) <令和8年4月> 博士(医学)	その他	教授
		医学概論 人体の構造と機能及び疾病		島本 和明 (79) <令和8年4月> 博士(医学)
		医学概論 人体の構造と機能及び疾病		医学概論 人体の構造と機能及び疾病
その他	教授	太田 誠 (67) <令和9年4月> 修士(理学療法)	その他	教授
		リハビリテーション論※		太田 誠 (67) <令和9年4月> 修士(理学療法)
		リハビリテーション論※		リハビリテーション論※
その他	教授	向井 康詞 (64) <令和9年4月> 修士(理学療法)	その他	教授
		リハビリテーション論※		神澤 達史 (62) <令和8年4月> 修士(法科学)
		リハビリテーション論※		リハビリテーション論※
その他	教授	大堀 具視 (59) <令和9年4月> 修士(作業療法)	その他	助教
		リハビリテーション論※		宝田 光 (37) <令和8年4月> 修士(リハビリテーション科学)
		リハビリテーション論※		リハビリテーション論※
その他	講師	荻原 裕子 (58) <令和8年4月> 修士(英文学)	その他	講師
		英語Ⅰ(基礎) 英語Ⅱ(実践基礎) 英語Ⅲ(実践応用)		赤間 莊太 (42) <令和8年4月> 修士(英文学)
		英語Ⅰ(基礎) 英語Ⅱ(実践基礎) 英語Ⅲ(実践応用)		英語Ⅰ(基礎)
				佐藤 雄太 (38) <令和8年4月> 修士(文学)
				英語Ⅱ(実践基礎) 英語Ⅲ(実践応用)
その他	講師	石田 ゆき (40) <令和9年4月> 修士(教育学)	その他	講師
		教育学		石田 ゆき (40) <令和9年4月> 修士(教育学)
		教育学		教育学
その他	講師	宮森 芳子 (73) <令和8年4月> 修士(農学)	その他	講師
		生活科学		宮森 芳子 (73) <令和8年4月> 修士(農学)
		生活科学		生活科学
その他	講師	高杉 学志 (59) <令和9年4月> 修士(法学)	その他	講師
		政治学入門		高杉 学志 (59) <令和9年4月> 修士(法学)
		政治学入門		政治学入門
その他	講師	中村 健治 (67) <令和11年4月> 文学士	その他	講師
		福祉用具と福祉機器		中村 健治 (67) <令和11年4月> 文学士
		福祉用具と福祉機器		福祉用具と福祉機器
その他	講師	伊藤 勝規 (62) <令和9年4月> 社会学士		
		ICFの理解		
その他	講師	太田 移 (51) <令和8年4月> 修士(経営管理学)	その他	講師
		経営管理論 ソーシャル・ビジネス		齋藤 厚 (52) <令和8年4月> 修士(経営管理)
		経営管理論 ソーシャル・ビジネス		経営管理論
その他	講師	田 幸典 (42) <令和8年4月> 博士(学術)	その他	講師
		韓国語		申 招諭 (54) <令和8年4月> 修士(医学)
		韓国語		韓国語

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
その他	講師	石垣 加奈子 (47) <令和9年4月> 博士(文学)	講師	石垣 加奈子 (47) <令和9年4月> 博士(文学)
		文学		文学
その他	講師	渡邊 稔 (46) <令和8年4月> 博士(経済学)		
		経済学入門		
その他	講師	水野 浩二 (73) <令和8年4月> 博士(文学)	講師	宮野 晃一郎 (51) <令和8年4月> 修士(文学)
		人間の尊厳と自立倫理学		人間の尊厳と自立倫理学
その他	講師	大川 良輔 (50) <令和8年4月> 修士(文学)	講師	大川 良輔 (50) <令和8年4月> 修士(文学)
		日本語表現		日本語表現
その他	講師	今 竜一 (42) <令和8年4月> 修士(教育学)	講師	今 竜一 (42) <令和8年4月> 修士(教育学)
		健康とスポーツ I 健康とスポーツ II		健康とスポーツ I 健康とスポーツ II
その他	講師	唐 炜 (63) <令和9年4月> 博士(文学)	講師	唐 炜 (63) <令和9年4月> 博士(文学)
		中国語		中国語
その他	講師	松岡 是伸 (47) <令和10年4月> 博士(社会福祉学)	講師	松岡 是伸 (47) <令和10年4月> 博士(社会福祉学)
		貧困に対する支援		貧困に対する支援
その他	講師	佐々木 孝一 (76) <令和11年4月> 学士(哲学)	講師	橋本 晋次郎 (57) <令和11年4月> 修士(社会福祉学)
		刑事司法と福祉		刑事司法と福祉
その他	講師	吉野 淳一 (70) <令和10年4月> 博士(社会福祉学)	教授	影山 隆之 (66) <令和10年4月> 博士(保健学)
		精神医学と精神医療 I 精神医学と精神医療 II		精神医学と精神医療 I 精神医学と精神医療 II
その他	講師	佐藤 恵 (68) <令和11年4月> 修士(人間学)	講師	佐藤 恵 (68) <令和11年4月> 修士(人間学)
		医療的ケア		医療的ケア
その他	講師	田村 里子 (72) <令和11年4月> 修士(社会福祉学)		
		終末期ケアとソーシャルワーク		
その他	講師	奥村 香澄 (40) <令和11年4月> 博士(障害科学)	講師	奥村 香澄 (40) <令和11年4月> 博士(障害科学)
		神経・生理心理学		神経・生理心理学

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(専任教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員を含む。))を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から重要となっている箇所は赤字**としてください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている教員区分(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任教員区分」)の順に記入してください。
改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
- ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・ 不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和8年度】

<ul style="list-style-type: none">・令和8年4月、平野啓介、今西良輔、小野等美紀子教授就任。「教員審査省略」・令和8年4月、山下浩紀、越石 全准教授就任。「教員審査省略」・基(主専)山下浩紀(准教授)、基(主専)橋本達志(講師)に、科目「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」を追加。・科目「地域福祉と包括的支援体制Ⅰ」「地域福祉と包括的支援体制Ⅱ」「福祉サービスの組織と経営」「介護施設経営」の担当を忍 正人(その他・准教授)から野口定久(その他・教授)に変更。・科目「統計学」の担当を志渡晃一(その他・教授)から赤津裕子(その他・教授)に変更。・科目「社会福祉調査の基礎」の担当を志渡晃一(その他・教授)から久保美由紀(その他・准教授)に変更。・科目「公衆衛生学」の担当を志渡晃一(その他・教授)から佐藤浩樹(その他・講師)に変更。・科目「家族社会学」の担当を原 俊彦(その他・教授)から林美枝子(基(主専)・教授)に変更。・科目「認知症ケア論」の担当を照井レナ(その他・教授)から下塚 光(基(主専)・教授)に変更。・科目「英語Ⅰ(基礎)」の担当を萩原裕子(その他・講師)から赤間壮太(その他・講師)に変更。・科目「英語Ⅱ(実践基礎)」「英語Ⅲ(実践応用)」の担当を萩原裕子(その他・講師)から佐藤雄太(その他・講師)に変更。・科目「人間の尊厳と自立」「倫理学」の担当を水野浩二(その他・講師)から宮野晃一郎(その他・講師)に変更。・科目「OCFの理解」の担当を伊藤勝規(その他・講師)から橋本達志(基(主専)・講師)に変更。・科目「経済学入門」の担当を渡邊 稔(その他・講師)から伊藤 一(その他・教授)に変更。・科目「人間の尊厳と自立」「倫理学」の担当を水野浩二(その他・講師)から宮野晃一郎(その他・講師)に変更。・科目「リハビリテーション論」の担当を向井康詞(その他・教授)から柿澤雅史(その他・教授)に変更。・科目「リハビリテーション論」の担当を大塚真規(その他・教授)から宝田 光(その他・助教)に変更。・科目「ソーシャルビジネス」の担当を木田稔(その他・講師)から照井レナ(その他・教授)に変更。・科目「持続可能社会と地域医療福祉経営Ⅰ」「地域連携実践」の担当を加藤敬文(その他・教授)から高橋銀司(その他・講師)に変更。・科目「経営管理論」の担当を木田 稔(その他・講師)から齋藤 厚(その他・講師)に変更。・科目「韓国語」の担当を田 幸真(その他・講師)から申 相融(その他・講師)に変更。・科目「刑事司法と福祉」の担当を佐々木 孝一(その他・講師)から橋本菊次郎(その他・講師)に変更。・科目「精神医学と精神医療Ⅰ」「精神医学と精神医療Ⅱ」の担当を吉野 淳一(その他・講師)から影山 隆之(その他・教授)に変更。・科目「終末期ケアとソーシャルワーク」の担当を田村里子(その他・講師)から丸山正三(基(主専)・教授)、林 美枝子(基(主専)・教授)、照井レナ(その他・教授)、大倉雄一(基(主専)・助教)のオムニバスに変更。

(注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は**、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「**基幹(専任)教員採用等設置計画変更書**」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。

原則として A C 教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C 教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C 教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C 教員審査を受審する必要があります。)

- ・ A C 教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教育研究に従事する必要基幹教員数（α）の4分の3以上
10	5	8
名	名	名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教授	准教授	講師	助教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）	助手（A''）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（B'）	助手（B''）
4	4	0	3	11	11	0	6	3	1	1	11	11	0
(4)	(4)	(0)	(3)	(11)	(11)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（C'）	助手（C''）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（D'）	助手（D''）
6	3	1	1	11	11	0	6	3	1	1	11	11	0
[2]	[Δ1]	[1]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[2]	[Δ1]	[1]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」として記入してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
 また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」（A'）」欄には「-」を記入してください。
 ・現在（報告時）の状況には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・**現在（報告時）の完成年度時の状況には、認可で設置された学部等の場合は、現在（報告時）の状況に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、現在（報告時）の状況に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、**
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・現在（報告時）の完成年度時の計画には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	2	4
歳	名	名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて基幹教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて基幹教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】
 現在（報告時）の完成年度時の状況（C） = $\frac{11}{11} = 100$ %
 設置時の計画（A）

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】
 現在（報告時）の完成年度時の状況（C'） = $\frac{11}{11} = 100$ %
 設置時の計画（A'）

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = $\frac{2}{11} = 18.18$ %
 現在（報告時）の状況（B）

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況（C''） = $\frac{0}{0} = -$ %
 設置時の計画（A''）

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0
		計	0	科目	計	0	科目	計	0

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{11} = 0\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和7年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

- ・令和8年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画	
認可時 (令和7年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(ヒューマンデザイン学部医療DXマネジメント学科、共生社会デザイン学科) 【届出】 遵守事項	開設時基幹教員(11名)のうち、第一定年を超える者は2名(18%)となっている。(8)	履行中	現時点の予定である設置計画では、完成年度時に定年を超える者は4名である。引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、教育研究の持続性を視野に入れた教員組織となるよう、若手教育職員の確保に注力するなど、バランスの取れた後任人事を行っていく。(8)
認可時 (令和7年)	保健医療学部臨床工学科の収容定員未充足の是正に努めること。 【届出】 遵守事項	高校訪問や進学相談会の実施回数増、DBマーケティングを行ってきた。しかしながら18歳人口の減少や景気の悪化等、厳しい環境下での学生募集活動に苦戦することもあり、現状の臨床工学科における適正な入学(収容)定員の見直しも併せて検討してきた。(8)	履行中	保健医療学部臨床工学科を取り巻く環境や入学者実績を踏まえ、本学では令和9年4月から、これまでより40名減らした入学定員20名(収容定員80名)とすることを決定し、所定の手続きをすすめていく。(8)
認可時 (令和7年)	〔通信教育課程〕総合福祉学部ソーシャルワーク学科の収容定員未充足の是正に努めること。 【届出】 遵守事項	昨年度に引き続き、道内および東京圏を中心とした全国レベルの募集活動を行っている。併せて、基盤とする学部が教育内容の充実等を企図した改組を行った(令和8年設置)ことから、本学科も同様の対応を行う。(8)	履行中	基盤とする学部の改組に伴い、本学科も令和8年4月に設置届を行い(事前相談済)、令和9年度入学生より学生募集を停止する。なお、在籍する全ての学生が卒業するまで、これまで以上に、充実した教育活動、進路支援などを提供できるよう、万全の体制を取っていく。(8)

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和7年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「(7)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(8)」と記載してください。

【令和7年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「(7) (8)」と記載してください。

【令和8年度から新たに調査対象となった学科等又は令和7年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(8)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<ヒューマンデザイン学部 共生社会デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特記事項なし	特記事項なし

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・FD委員会 <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none">・第1回(2025.04.24) 参加状況:出席11名(欠席6名)・第2回(2025.05.29) 参加状況:出席12名(欠席5名)・第3回(2025.06.30) 参加状況:出席14名(欠席3名)・第4回(2025.07.24) 参加状況:出席13名(欠席4名)・第5回(2025.08.28) 参加状況:出席11名(欠席6名)・第6回(2025.09.24) 参加状況:出席13名(欠席4名)・第7回(2025.10.28) 参加状況:出席12名(欠席5名)・第8回(2025.11.26) 参加状況:出席10名(欠席7名)・第9回(2025.12.24) 参加状況:出席14名(欠席3名)・第10回(2026.01.28) 参加状況:出席12名(欠席5名)・第11回(2026.02.25) 参加状況:出席14名(欠席3名)・第12回(2026.03.25) 参加状況:出席13名(欠席4名) <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・FDセミナーの実施計画について・授業評価アンケートの実施について <p>② 実施状況(FD)</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・FDセミナーの実施

b 実施方法

- ・ FDセミナー（対面・リモート・オンデマンド配信のハイブリッド形式）
- ・ 過去のFDセミナーをオンデマンドコンテンツとして配信

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 第1回 FDセミナー（2025.08.29）
「現代の大学生が抱える諸問題」「ネット依存とデジタル学習の落とし穴」 参加状況：教員100名
- ・ 第2回 FDセミナー（2025.08.29）
「生成 AI 時代のアクティブラーニング実践」 参加状況：教員100名
- ・ 第3回 FDセミナー（2026.03.10）
「AI を活用した教育方法の推進」 参加状況：教員86名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ FDセミナーおよび授業評価アンケート結果を踏まえた授業方法の改善・検討および実施

② 実施状況（SD）

a 実施内容

- ・ 学内SD研修の実施

b 実施方法

- ・ 対面またはリモート

c 開催状況

- ・ 第1回 SD研修（2025.05.13）
「令和7年度経営計画」 参加状況：全員参加
- ・ 第2回 SD研修（2025.06.24）
「本学の特徴(1)」 参加状況：全員参加
- ・ 第3回 SD研修（2025.07.01）
「中期経営計画」 参加状況：全員参加
- ・ 第4回 SD研修（2025.08.19）
「寄附行為」 参加状況：全員参加
- ・ 第5回 SD研修（2025.09.10）
「内部統制(1)」 参加状況：全員参加
- ・ 第6回 SD研修（2025.10.23）
「内部統制(2)」 参加状況：全員参加
- ・ 第7回 SD研修（2025.11.21）
「本学の特徴(2)」 参加状況：全員参加
- ・ 第8回 SD研修（2025.12.16）
「本学の特徴(3)」 参加状況：全員参加
- ・ 第9回 SD研修（2026.01.20）
「実務研修(予算)」 参加状況：全員参加
- ・ 第10回 SD研修（2026.02.24）
「契約事務とバクラク発議について」 参加状況：全員参加

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 有（前期と後期の2回）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 学内ポータルサイトを通じて公開

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・順調に推移している

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和8年9月 公表予定

b 公表方法

- ・「日本医療大学 年報」を刊行
- ・大学ウェブサイトに公開予定

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・令和8年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和8年度）

- a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。